



令和6年度 第74回 卒業証書授与式 令和7年3月1日



第74期生111名(普通科88名・理数科23名)が、それぞれの進路に向けて希望を胸に旅立ちました。



公式インスタグラムでは、日々の活動を投稿しています。

ぜひご覧ください。

吉高ニュース3月号の写真は写真部が撮影してくれました。

令和6年度 柏葉賞受賞者 (柏葉賞とは、他の生徒の範となる生徒に贈られる賞です。)

【部活動賞】 服部 柁志 (古川中出身)

科学部では2度の全国大会出場で高校生や教授の前での研究発表、ポスター発表の経験のほか、研究の中では物理学やプログラミングなどを学び、貴重な時間を過ごせました。普段の生活では学べない研究の経験ができてよかったです。

【教科教育賞・部活動賞・生徒会賞】 丸山 一葉 (古川中出身)

様々な活動に全力で取り組んだことが、高校生活を充実させることに繋がったと思います。今までの高校生活で身につけた力を今後の進路実現に活かしていきたいと思っています。

【教科教育賞】 倉家 るみ (古川中出身)

3年間の学習では、仲間や先生方のサポートのもと、理論立てて、理解しながら解くことを意識しました。粘り強く努力した結果がこのように形となって、とても嬉しいです。卒業後も自分の進路実現のために、努力していきます。

【部活動賞】 野原 久遠 (宮中出身)

科学部では物理学だけでなく、プログラミングやCADなどを学び、また全国大会に2回出場し多くの経験をしました。このような貴重な経験ができ、科学部に所属してよかったと思っています。



【生徒会賞】 荒井 一花 (古川中出身)

生徒会活動では、ポロシャツ作成をはじめ、大変なことも沢山ありましたが、それ以上に充実した貴重な体験をすることができました。協力してくださった生徒の皆さんや先生方、ありがとうございました。

YCK PROJECT REPORT

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

YCKプロジェクト 課外活動プログラム 「①葉っぱをたべたのは誰だろう?第3回」を実施しました!

「葉っぱをたべたのは誰だろう?第3回」

- ◆日 時:令和6年11月10日(日)
- ◆場 所:飛騨市役所西庁舎大会議室
- ◆参加者:1年生(4名)、2年生(10名)、3年生(3名)
- ◆講 師:京都大学大学院地球環境学堂 浅野 悟史准教授 他



京都大学は地域協働活動を実践しており、飛騨市をフィールドに様々な研究を行っています。このプログラムはその活動の一つとして大学生や研究者と交流しながら飛騨の里山にいる生き物についての調査を行い、飛騨の生態系について考える企画の第3回です。



5月の観察会で虫食いの葉のサンプルを収集し、里山を観察しました。8月には収集したサンプルのDNA情報を読み解き、環境DNAの解析作業を体験しました。さらに自然観察会における発見や気づき、環境DNA解析で得られた結果を総合的に評価し、飛騨の里山環境の豊かさについてディスカッションを行いました。今回はその2回の活動を通して自分たちが得たものや、感じたこと、考えたことを午前中かけてポスターにまとめ、午後からESD「きのこで街を活性化」のグループも加わり、大学の先生方や市民の皆さんとポスターセッションを行いました。



3グループに分かれて、ポスター制作を行いました。3グループとも経験した活動は同じでしたが、重点を置いた内容や感じたこと発見したことなどそれぞれの視点があり、全く異なるポスターができあがりました。ポスターセッションでは自分たちが発表するだけでなく、京都大学の先生方や大学院生の方、他大学の研究者の方のポスターセッションにも参加し、様々な学びを得ることができました。

生徒のワークシートから、感想・ふりかえりの一部を抜粋しました。

自分の学びをアウトプットする方法をを学んだ!

| 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|---|---|--|
| <p>・ポスターセッションを通してスピーチ以外の発表方法について学びました。これまでは交流する際には皆の前に立ってスピーチをすることしかできないと思っていたけれどそれ以外の方法を知ることができました。ポスターセッションではポスターを見ている人に質問をされるため、その質問に答えることが大変でしたが、それによって理解が深まりました。</p> | <p>・ポスターにわかりやすくまとめることは自分の知識を整理する必要がある、難しかったです。地域の方や大学の先生のポスターは自分の体験や実験を踏まえてわかりやすく写真や図を使ってまとめてあり、参考になりました。</p> <p>・ポスターセッションで自分が考えもしなかった観点からの疑問を多く話していただいたことで視野を広げることができました。</p> | <p>・ポスターセッションでは自分がただ説明する側というだけでなく、質問して下さった大人の方から昔と今で生息する生物が変化している理由や、生物に対する考えや気持ちを聞くことができました。世代が異なる方々との交流は多くの方から学ぶことができる良い経験だと感じました。分からないなりに質問に答えようとすることでコミュニケーション能力が向上しました。</p> |

ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555

